

ここで皆様に言いたいことがある。

今、どのような状況に置かれているか解っているか？

「新規感染者が急に増えた」「ウイルス怖い、怖い」「マスク外せない」

そのような状況じゃないだろう！

「新規感染者が急に増えた」のは、PCR検査で無症状者まであぶり出して検査しているから、急激に増えてしまうのは仕方ない。

それに、「新規感染者」ではなく「新規に陽性となった方」が正解。この中には症状のあるものからないものまでいるから、一概には言えない。

「ウイルス怖い、怖い」はあくまでも思い込み。インフルエンザの時はどうしていた？「怖い、怖い」だったのか？

新型コロナウイルスは、肺炎や人工呼吸器取り付けなど重症化しなければ軽症で済むもの。過度に恐れる必要は無い。

「マスク外せない」、何を考えている。マスクはいつからマナーのアイテムになった？

今般の感染症におけるマスクはあくまでも「咳エチケット」の一環。マナーでも何でも無い。

上記の対策としては、私はこのように考えている。

項目	対策
「新規感染者が急に増えた」	注目するのは「重症者数」「死者数」「感染率」「実行再生産数」。 この4項目を見れば感染の状況が解かる。 ※「新規感染者数」は当てにならない
「ウイルス怖い、怖い」	発症しない対策を心がける。もし、発症したら重症化させない様に自分の体と上手くコントロールする。
「マスク外せない」	外せる場所であれば自身の判断で外すようにする。 ※そもそも日本は諸外国と違い、マスク強制着用ルールはない

今般の新型コロナウイルス感染症拡大で「新しい生活様式」の実践が求められているが、

私はこの「新しい生活様式」は感染症対策とは言い難い。

過去の感染症でも「生活様式」を変えることは求めていたのか？ そうじゃないだろう。

新型インフルエンザの時はどうだった？ 患者だけ隔離されてそれ以外は自宅療養。

結核の場合はどうだ？ 隔離されても患者だけ。それに人と人との間隔を離すことは無かった。

つまり、今までの感染症でも生活様式を変えるまでには至っていない。

それぞれの方法は感染対策にとっては良いものだと思うが、私はそう思わない。何故なら「新しい生活様式」を実践してもウイルス対策には何の意味も無い。

ウイルス対策は「手洗い」と「免疫力を上げる」こと。マスクやソーシャルディスタンスや3密の回避はかえって逆効果に繋がる事もある。

それに「新しい生活様式」の実践は強制力を持っていない。実践しなくても何の罪も無い。

やりたい人がやれば良いのだ。

ここまでざっと述べてきたが、私は何が言いたいのかと言うと、

「出鱈目な感染対策はするな！」

この一言に尽きる。

今までのメディアの報道内容やSNSでの言動、巷の状況などを見ていると、全部が全部では無いが出鱈目な考えばかりで何の参考にもならない。

特にその「出鱈目」が顕著に出ているのは「自粛警察」「マスク警察」「帰省警察」の存在。これらは「警察」とは言い難い方法で相手を罵るため、実際の「警察」にとっても厄介者だ。やり方はもはや「テロリスト」そのものである。これに加え、「同調圧力」が「出鱈目な感染対策」を増長させている。「同調圧力」はとんでもない結果を生むので絶対に屈しないで欲しい。

上記は全て「ゼロリスク」を求める考えから来ているものが多いが、そもそも「ゼロリスク」と言うものは存在しない。何故なら、物事には必ず「リスク」が付きものだから。

例えば、自動車運転の場合は「活動の幅が広がる」ものの、「事故を起こしたときの代償が大きい」「乱暴に扱おうと犯罪に繋がる」事がある。

このような多少の「リスク」は承知した上で生活を続けて欲しい。「ゼロリスク」を求めるのは大間違い。

皆様もどれが正でどれが誤りなのかは、見た目や今までの感染症対策で判断出来るはずだ。

まだまだ先は長いが、いつかこの話題が「笑い話」程度になることを私は望んでいる。

今までの日本はいくつもの困難を乗り越えてきたので、今回も乗り越えられることを信じている。

皆様も感染症にかからないよう、出鱈目では無く正しい感染症対策を心がけて欲しい。

以上

「青・空・虹」管理人 七語零黎